

1880年、27歳にして画家を志したフィンセント・ファン・ゴッホ (Vincent van Gogh, 1853-1890) は、画業の初期にハーグ派の影響を受けました。このグループは、街の近辺で出会う身近な風景を描きました。対象を正確に写し取るのではなく、示唆に富んだ筆致で仕上げた彼らの絵には、時としてスケッチのような趣が残されています。このように、細部ではなく印象を重視した手法をファン・ゴッホはまず身に着けたのです。その後彼はパリに出ると、印象派が打ち出した鮮やかな色遣いに出会ってその虜となり、色の表現力を学び、実践するようになります。本展では、このようにファン・ゴッホの画業の初期から、印象派の洗礼を受けて独自のスタイルを確立するまでを追います。

7年ぶりの来日となる《糸杉》(メトロポリタン美術館蔵) や、ファン・ゴッホの「最も美しい作品のひとつ」と称される《薔薇》(ワシントン・ナショナル・ギャラリー蔵) など約50点のファン・ゴッホ作品をはじめ、マウフェ、マリス、モネ、セザンヌ、ゴーギャンなどハーグ派・印象派の巨匠たちの作品を多数ご紹介します。

Vincent van Gogh

ゴッホ展

2020年1月25日(土) - 3月29日(日)



フィンセント・ファン・ゴッホ《糸杉》1889年6月
油彩・カンヴァス 93.4×74cm メトロポリタン美術館
Image copyright © The Metropolitan Museum of Art.
Image source: Art Resource, NY

関連イベント

■ゴッホ展開催記念 原田マハ氏講演会 「ゴッホのあしあと - 創作の軌跡を追いかけて」

講師：原田マハ(作家)

日時：2月16日(日) 午後2時～(約90分)

会場：JICA関西 2階ブリーフィングルーム

(神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 当館から西へ徒歩約3分)

※聴講無料、要観覧券、要事前予約

(美術館ホームページ「原田マハ講演会申し込み」ページから、先着200名)

■KEN-Vi名画サロン特別上映

①「ゴッホ 最期の手紙」(2017年/96分)

日時：2月15日(土)

②「世界で一番ゴッホを描いた男」(2016年/84分)

日時：3月20日(金・祝)

会場：ミュージアムホール(定員250名)

主催：兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会、
兵庫県映画センター

※料金や上映時間などの詳細は、P3を参照

■学芸員による解説会

日時：2月22日(土)、3月14日(土)、3月28日(土)

各日午後4時～(約45分)

会場：レクチャールーム(定員100名)

■おやこ解説会

日時：3月14日(土) 午前10時30分～(約30分)

会場：レクチャールーム(定員20組)

※聴講無料、要事前申込み、詳細はHPをご覧ください

■ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日午前11:00～(約15分)

会場：レクチャールーム(定員100名) 聴講無料

観覧料

一般1,700(1,500)円、大学生1,300(1,100)円、高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

[高齢者・障がい者割引] 70歳以上850(750)円、

障がい者・一般400(350)円、障がい者・大学生300(250)円

※()内は20名以上の団体料金

※一般以外の料金には証明できるものの提示が必要です

※障がいのある方1名につき、介護の方1名無料